

農道舗装工事における全作業員週休2日確保と地域貢献について

長野県土木施工管理技士会
庫昌土建株式会社
新 村 洋次郎

1. はじめに

今回の工事は、週休2日休日を確保するモデル工事であった。

工事概要

- (1) 工 事 名：県営農道整備事業舗装工事
- (2) 発 注 者：長野県諏訪地域振興局
- (3) 工事場所：諏訪郡原村中新田
- (4) 工 期：平成29年7月13日～
平成29年11月27日

2. 現場における問題点

現在使用している農道を掘削し路盤工・表層工を行う工事であった事と、作物の収穫時期が工期と重なっていたため、如何にして地権者に迷惑のかからない工程で週休2日を確保するかが課題であった。

また、地域の協力なくして施工できないため地域住人と密にコミュニケーションを取る必要があった。

3. 当現場で実施した内容

そこで現場では、週2日以上の日休みの確保と、積極的に地域住人の要望や自発的に現場周辺の環境整備を実施した。

(1) 工事現場の週2日休工

本現場は週休2日を確保するモデル工事であった。着工から竣工までの期間、土・日曜日並びに祝日を休工とし工程を組んだ。

農道工事であったため、稲刈り時期を考慮し週休2日を確保できる工程で、現場乗込み時期を8月中旬と決定し、監督員と協議し丁張りの設置、地権者立会を行った。

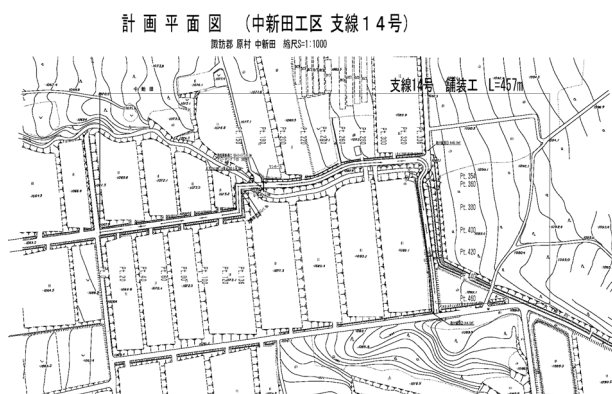


図-1



図-2

(2) 現場全労働者の週休2日への取り組み

本工事は週休2日を確保するモデル工事であったため、自社及び下請企業を含む現場全労働者に週2日以上のお休みを確保した。下請企業に見積り依頼時書面にて当現場において週2日間の休日確保を要請した。

(3) 地域住民とのコミュニケーション

現地工事説明会の時に、BP 付近に設置されている既設横断側溝に土砂が堆積し機能していないことから、下流側の道路及び畑に土砂が流れ込んでしまうので土砂を撤去して欲しいと要望があった。

道路土工時に土砂撤去作業を行い側溝の機能を回復させ、地域の要望に応えた。



図-3 土砂撤去



図-4 土砂撤去完了

(4) 作業現場の周辺地域との調和

道路土工時の大型ダンプトラック通行による道路の汚損防止と、農耕用車両が頻繁に通行し道路が汚れていたため、定期的に道路清掃並びに散水清掃を行った。

また完成後、路肩に堆積した土砂を路面清掃車にて除去した。

(5) 写真管理の工夫

現場の広範囲にわたる全容把握と地域住民への説明資料としてドローンによる写真撮影を定期的に行った。空中からの撮影を行うことにより、現場全体を把握できたことから、進捗状況を地元及び作業員に分かりやすく説明することができた。



図-5 空撮状況

(6) 地域の自然環境保全

保護箇所法面下にはBOX カルバートが埋設されていたこと、転落防止としてガードレールを設置するために限られた範囲での施工になったため、最小法面勾配が1:1.0になった。また、道路横断勾配が保護した法面側に1%ついていたので、雨水による法面の洗掘が懸念されたので法面を保護した。主任技術者が前回施工した現場で用いた植生シートがあり、調査の結果周辺にハギ等が確認されたので在来種を主とした種子配合で法面を保護し自然環境の保全に努めた。

(7) その他

現場事務所裏にリサイクルBOXを設置し、現場で発生した資源物の分別に努めた。

全作業員にゴミのポイ捨て、不法投棄等禁止を周知し徹底させた。また、分別した資源物は適正に処理しリサイクルを推進した。

このように様々な事に挑戦・実施し休日の確保、地域貢献を行い、地権者並びに周辺地域に喜ばれ、発注者にも高評価を得ることが出来た。

4. おわりに

余裕のある工程で施工出来たため、地権者・地域への配慮も行え、予定通り週2日休工を確保しながら現場を完成させることができた。

現場では実際に土曜日、日曜日、祝日を全作業員休工とし、なかなか取れない休日がとれ、普段行えない家族サービスや趣味の時間が出来た事で全作業員に大変好評であった。

また、新卒社員を現場代理人として配置していたが、休日が少ないことが若手技術者の離職理由につながっており、建設工事にもこのような取組がある事へのアピールとなった。

建設業における週休2日の確保は工期等の影響で難しい側面はあるが、今後もこのような取組みをしていきたい。